

計測制御分野で最新のシステムを提供する

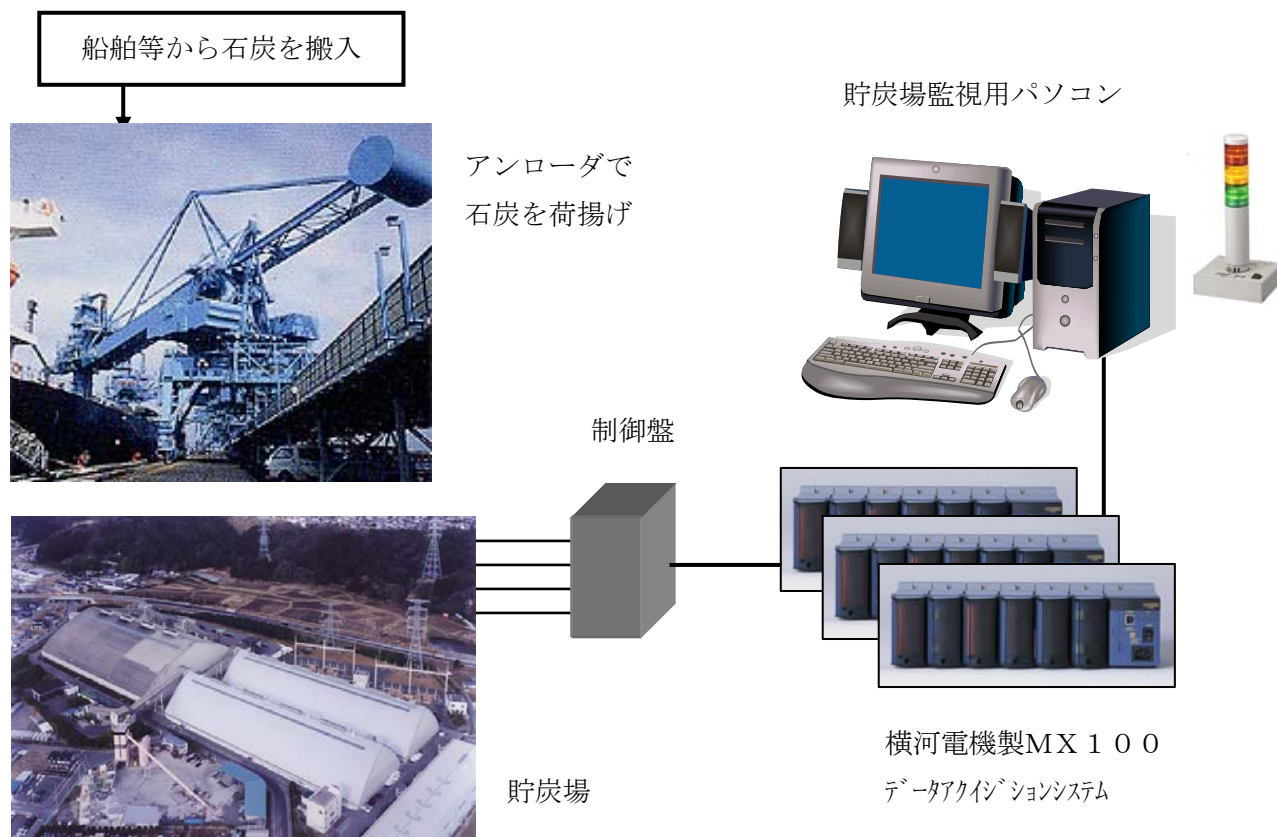
ハビリス納入事例紹介

火力発電所貯炭場温度監視システム

2007年現在、稼働中の火力発電所における燃料は約45%が石油、残りが石炭、LNGを使用していると言われています。(電気事業便覧H19より参照)

当事例は、石炭火力発電所の燃料である石炭を一時的に保管するための貯炭場の温度監視用に「ウェーブリサーチャー」を改造した事例であり、常時石炭のパイル（堆積場）ごとに温度の監視を行なっております。以前、貯炭場とボイラー設備を結ぶベルトコンベアーで、火災が発生したことがあります。石炭の自然発火の防止にも「ウェーブリサーチャー」は役立っております。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、石炭火力発電所の預炭場の温度を集中監視する目的で導入されました。石炭は貯蔵されている場所の温度と一酸化炭素濃度の上昇により自然発火の可能性が高まります。近年燃料コストの面から炭素成分が低く、メタン等の揮発性成分が高い亜瀝青炭の使用が進んだ関係で、自然発火の防止が重要になっています。

石炭の自然発火のプロセスは、石炭が空気中の酸素を吸収する酸化反応で起こる温度上昇が原因とされていることから、石炭保管場所に設置した多数の温度センサをMX100経由で計測し、「ウェブリサーチャー」で監視を行なっています。

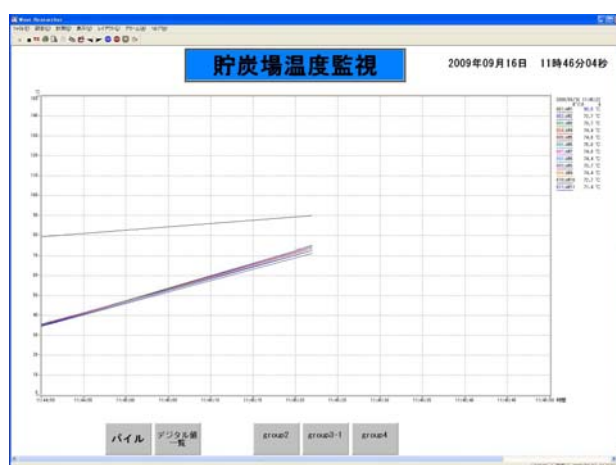
(2)主な処理内容と「ウェブリサーチャー」の改造点について

①石炭の保管場所が多数あることから、保管場所をグループ登録し、その単位に4段階の温度警報設定を可能に改造しました。警報はMX100により、外部接続されているパトライトを警報ランプとして使用します。

②温度監視帳票（日報、月報）を自動的に印刷する機能を追加しました。

③貯蔵する石炭の銘柄等の登録ができるように改造しました。

（画面表示例）



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285